

法三郎佐川源太入江新九郎小白川大膳家多十郎五郎
竹林誠五郎常野五郎隱明寺藏人太郎戸次左衛門
七郎兵衛小白川傳八郎紀伊定親主從十八郎出羽必門
屋の庄内中館小館大野関之村を兼盛云小進せ
ゝ。叔又和久の所所親朝郎とハ昔右大將頼朝との
弟二男ありしが政子妹姫嫁く後九郎盛長具一奉り
此所小居住せり叔其後大館源六子源太郎といふ者
教道して不ふふ横元其子六歳あるを安達寺門佐
幸堂小僧しりし是の依て平九郎兼盛云教道人共と
誅罰ありし親朝郎の所子ハ是より幸堂より在

らぬ幸堂小太郎是幸堂の先祖あり叔此合戦の
時戸次方へ馳付りて今豊後黒川三郎八柳の石
川右馬助荊和野の小館館倉荒木等二十余人此和久城
責の時兼盛云の近習細田主膳といふ者欲五人取り打
死せり竹林越前五郎ハ大江孫三郎といふ教道人の所
あり者も但し一討取但し討死く手負陸屋より死す
兼盛云より網本七九郎を附陸屋へ送り死ふ是より山本
郡一名は兼盛云の幕下日屋す譜代の諸士鬼丸行當
桶井百貫又田口平三郎 喜太郎受父盛宗
病死後改 竹林將監太郎
兄越前死云
故相後せり 進方五郎 常野小六隱明寺藏人戸次左京